

水産関係被害の状況



水産関係被害の状況①：全体像

県内の9割の漁港・港湾で被害を確認（被害: 72港(県17、市町55) / 県内: 81港)
⇒外浦地域では地盤隆起、内浦地域では津波などによる甚大な被害が発生

《水産関連》

施設	内容	被害数	関係市町	備考
漁港8港 (県管理)	防波堤、岸壁、物揚場、臨港道路損傷	7漁港	七尾市(1)、輪島市(2) ^{※1} 、珠洲市(2) ^{※1} 、志賀町(1) ^{※1} 、能登町(1)	※ ¹ 鹿磯漁港他、志賀町から輪島市、珠洲市の外浦海域の21漁港では、地盤隆起により、海底の露出や水深が不足
漁港61港 (市町管理)	防波堤、岸壁、物揚場、臨港道路損傷	53漁港	七尾市(13)、輪島市(10) ^{※1} 、珠洲市(5) ^{※1} 、白山市(1)、志賀町(6) ^{※1} 、穴水町(8)、能登町(10)	
漁船	転覆、沈没、座礁、一部損壊、流出 ^{※2}	340隻以上	七尾市(14)、小松市(1)、輪島市(79)、珠洲市(60)、志賀町(92)、穴水町(4)、能登町(90)	※ ² 流出した漁船のうち18隻が新潟県の沿岸に漂着
共同利用施設	断水、浸水、冷凍冷蔵施設・選別機・倉庫損壊など	35箇所	加賀市(1)、金沢市(2)、七尾市(9)、輪島市(3)、珠洲市(7)、羽咋市(2)、内灘町(1)、志賀町(5)、穴水町(1)、能登町(4)	
その他	岩のり畑、養殖施設損壊	18箇所	七尾市(2)、輪島市(8)、珠洲市(3)、志賀町(3)、穴水町(2)	

《港湾関連》

施設	内容	被害数	関係市町	備考
港湾10港 (県管理)	防波堤、岸壁、物揚場、道路、埠頭用地損傷	10港	金沢市(1)、七尾市(1)、輪島市(1) ^{※1} 、珠洲市(1)、羽咋市(1)、志賀町(1)、穴水町(1)、能登町(2)、加賀市(1)	※ ¹ 輪島港では地盤隆起により水深が不足
港湾2港 (市管理)	防波堤、岸壁、物揚場、道路、埠頭用地損傷	2港	七尾市(2)	

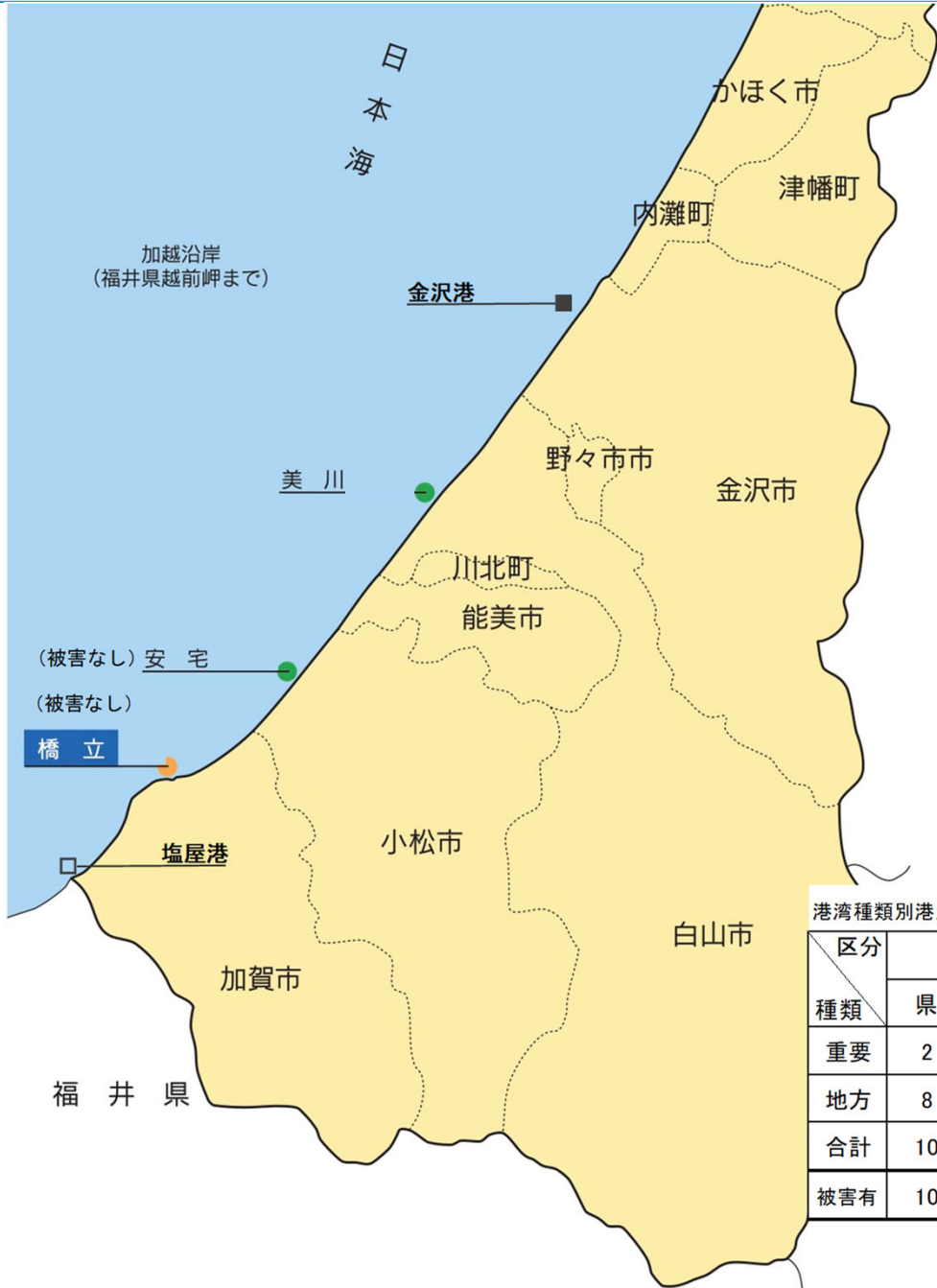
水産関係被害の状況②：港の位置図（能登地域）

石川県漁港・港湾位置図

地盤隆起 21 漁港+2 港湾



水産関係被害の状況②：港の位置図（加賀地域）



富山県

凡例

- 第4種漁港
- 第3種漁港
- 第2種漁港
- 第1種漁港

- 重要港湾
- 地方港湾

港湾種類別港湾数

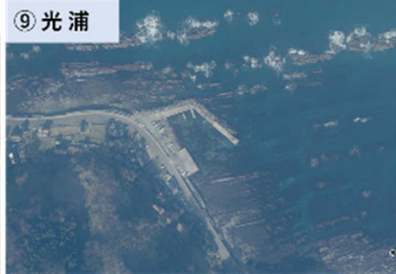
区分	管理者別		総数
	県	市・町	
重要	2	-	2
地方	8	2 (七尾市)	10
合計	10	2	12
被害有	10	2	12

漁港種類別漁港数

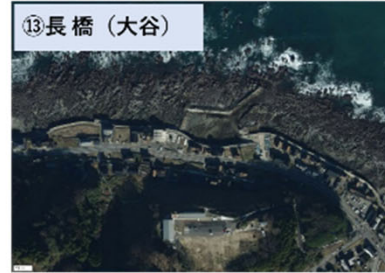
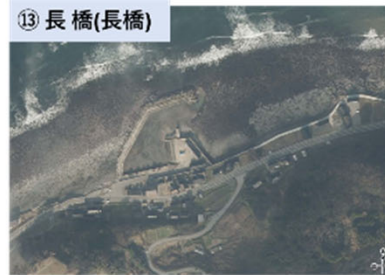
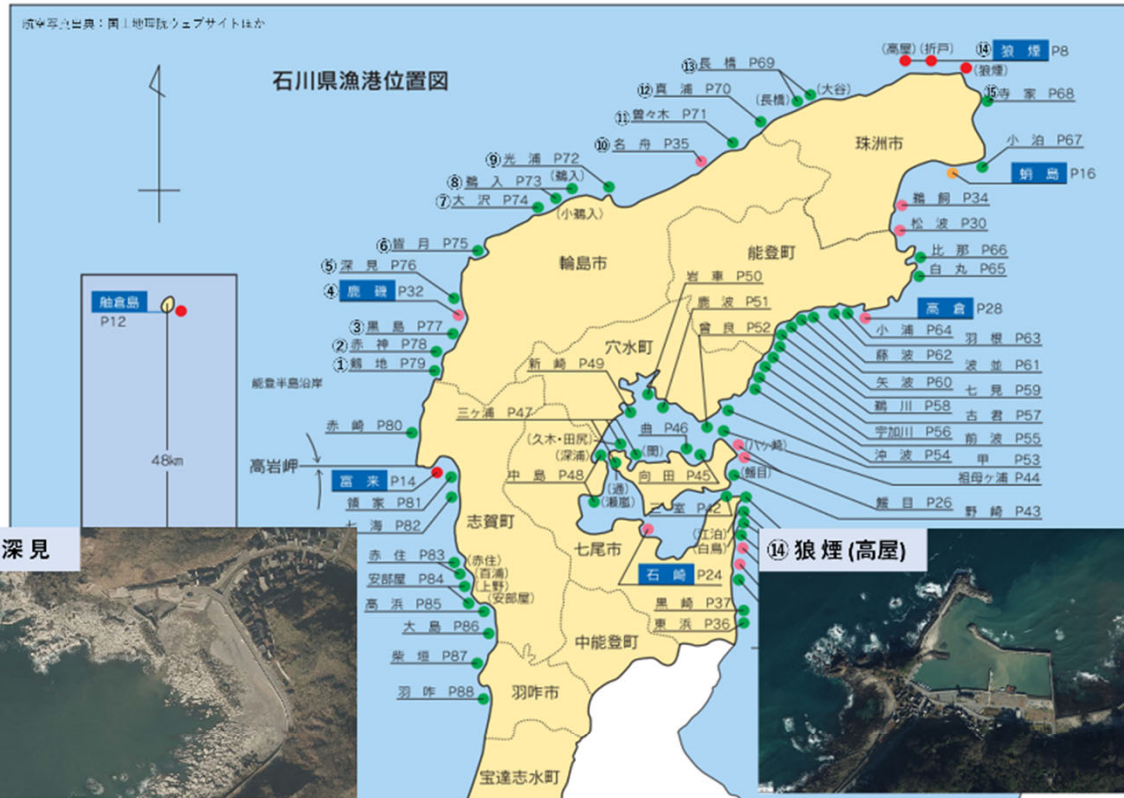
区分	管理者別		所在地別		総数
	県	市・町	本土	離島	
第4種	3	-	2	1	3
第3種	2	-	2	-	2
第2種	3	6	9	-	9
第1種	-	55	55	-	55
合計	8	61	68	1	69
被害有	7	53	59	1	60

(平成30年3月31日現在)

水産関係被害の状況③：地盤隆起被害の大きい漁港



※航空写真出典：国土地理院ウェブサイトほか



輪島港（輪島市海士町～輪島崎町）



- ◎ 地盤隆起により水深が不足
- ◎ 約200隻の漁船が座礁・港外に出られない状況
- ◎ 岸壁や漁港施設の地面が波打ち、いたるところに亀裂あり

■水産課調べ（R4）

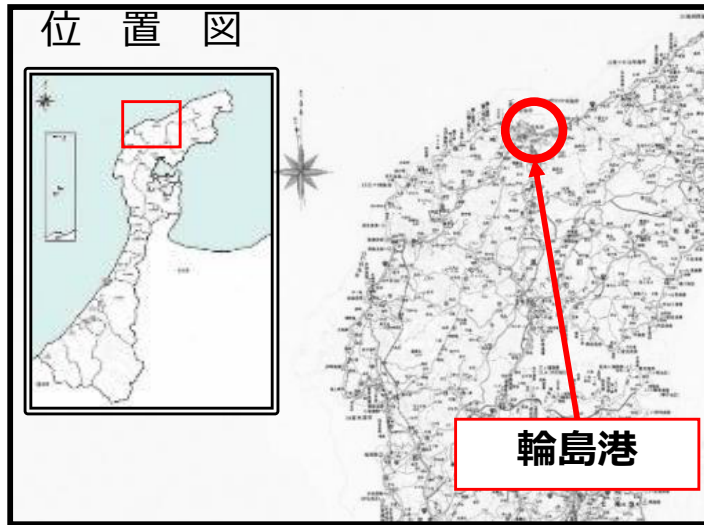
漁船数：200隻

主要漁業：刺網、まき網、底びき網、海女漁、定置網

主要魚種：さば類、ずわいがに、ぶり類、ふぐ類、えび類

陸揚量：6,161t（輪島支所全体）

陸揚金額：2,558百万円（輪島支所全体）



鹿磯漁港（輪島市門前町）



- ◎ 地盤隆起により漁港使用不可
- ◎ 岸壁の波打ちや係留されていた漁船が座礁
- ◎ 旧港の方では、防波堤の隆起が顕著

■ 港勢調査 (R4)

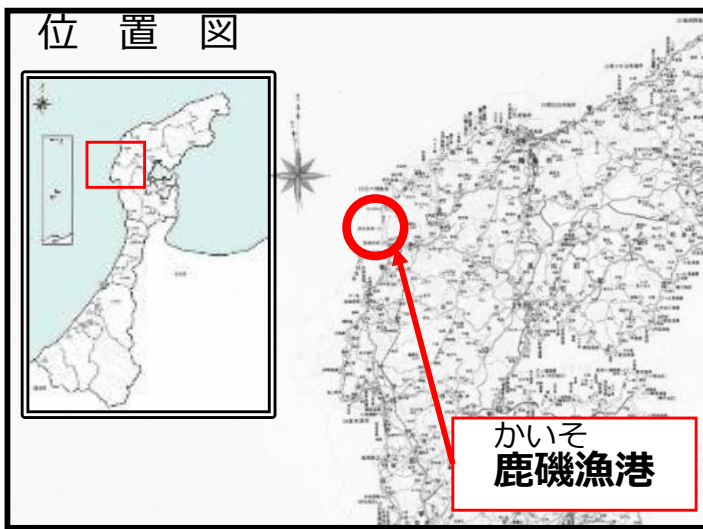
漁船数：79隻

主要漁業：大型定置網、いか釣り

主要魚種：いか類・さば類・ぶり類・いわし類・さわら類

陸揚量：949t

陸揚金額：667百万円



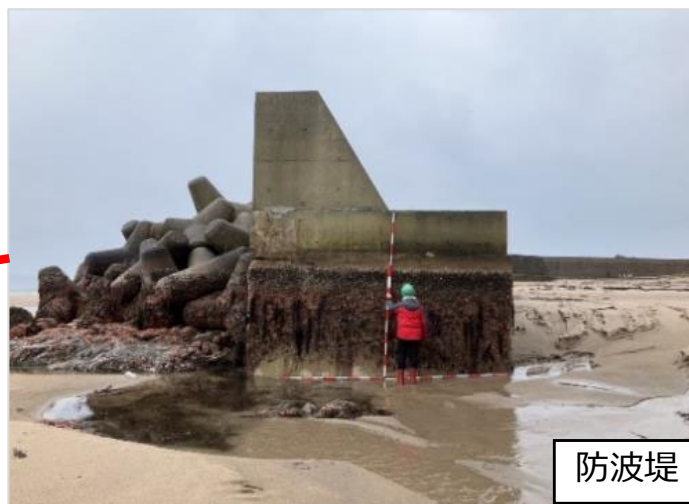
係船岸壁



泊地



港の全景



防波堤



泊地

※国土地理院ウェブサイトより

黒島漁港（輪島市門前町）



- ◎ 地盤隆起により漁港使用不可
- ◎ 漁港全体が干上がって、陸地化

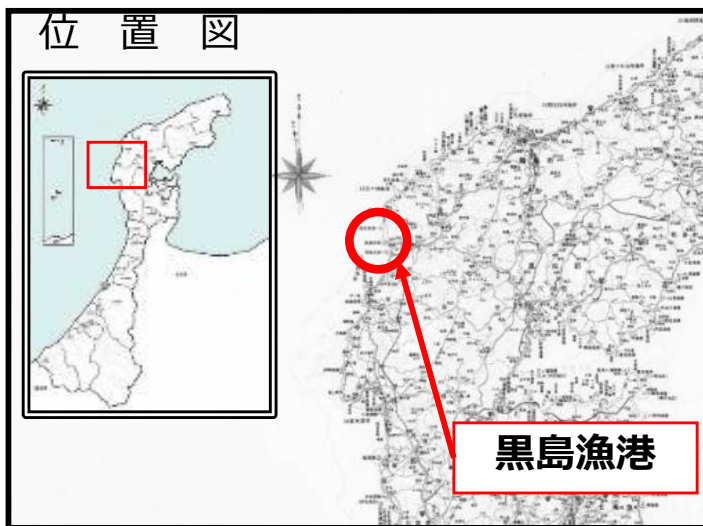
■ 港勢調査 (R4)

漁船数：17隻

主要漁業：採貝・刺網・釣り

主要魚種：さざえ・ぶり類

陸揚量：11t 陸揚金額：5百万円



蛸島漁港（珠洲市蛸島町）



- ◎ 地盤隆起による影響もあるが、水深は確保されている
- ◎ 岸壁や漁港施設に大きな被害
- ◎ 一部の定置網・底びき網で操業再開

■ 港勢調査 (R4)

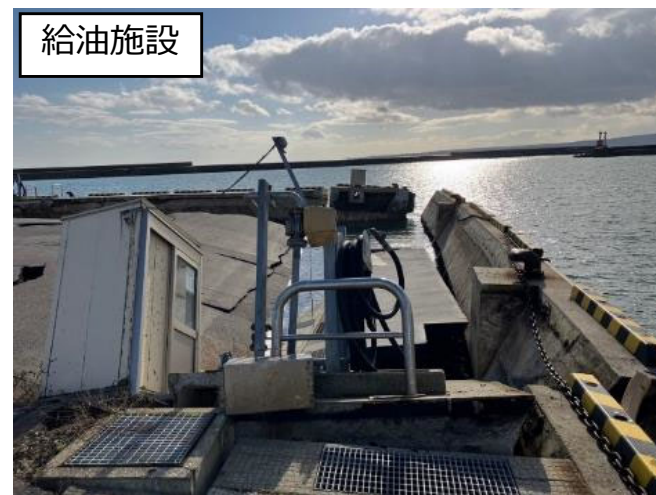
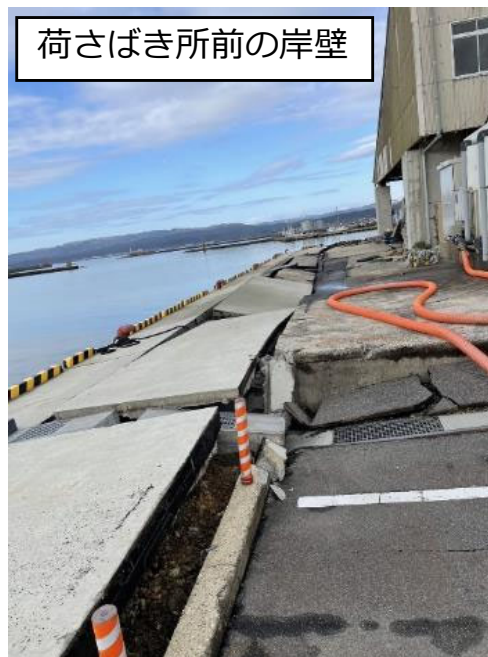
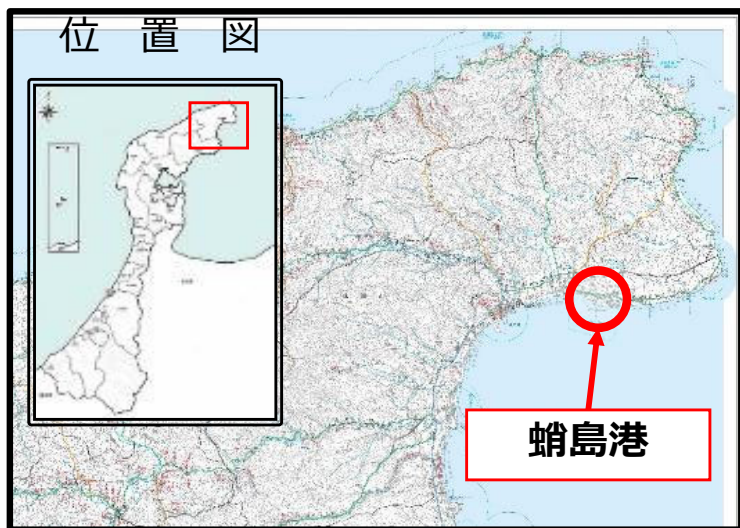
漁船数：103隻

主要漁業：大型定置網・まき網・小型底びき網・いか釣り

主要魚種：いわし類・さば類・いか類・あじ類・ぶり類

陸揚量：4,939t

陸揚金額：1,388百万円



撮影：中日本航空株式会社／株式会社ナカノアイシステム

【参考】 9月22日の豪雨災害による被害



鹿磯漁港や狼煙漁港などにおいて、土砂の流入や流木等の漂着が確認された。

「鹿磯漁港」 ※国土地理院ウェブサイトより



臨港道路に土砂堆積（市道側から土砂流出）



流木等の漂着

「狼煙漁港（高屋地区）」



流入した土砂が堆積



流入した土砂が堆積